

平成21年6月9日

会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成21年6月9日
開会 11時41分 閉会 12時15分
- 2 場 所 幕別町役場 5階会議
- 3 出席者 6名
委員長 牧野茂敏
副委員長 藤原 孟
委 員 増田武夫 乾邦廣 助川順一
議 長 古川 稔
- 4 職務のため出席した議会事務局職員
局長 堂前芳昭 課長 仲上雄治 係長 金田恭之
- 5 審査事件 別 紙
- 6 審査結果 別 紙
- 7 審査内容 別 紙

委員長 牧野 茂敏

◇ 審 査 内 容

(11:41 開会)

○委員長（牧野茂敏） ただいまより、総務文教常任委員会を開会いたします。

これより、議事に入ります。

先ず始めに、陳情第14号、地方分権改革にあたり地域経済等に配慮を求める意見書の提出を求める陳情書について審議をしたいと思います。

これに関してご意見ございませんか。

増田委員。

○委員（増田武夫） 地方分権改革にあたり地域経済等に配慮を求める意見書でありますけれども、基本的には問題ないと思います。ここには提案されていないのですが、意見書案が示されているのですが、これを採択するということになると、それに基づいて意見書案が作られることになるとと思いますが、その中で、ちょっと配慮した方がよいと思う点があります。意見書を作る際には、それを考慮していただきたいと思うのですが、一つは、意見書案の3番目に、国の直轄事業を維持しとあるのですが、国の直轄事業も色々問題がある直轄事業もあるので、だから今の直轄事業をそのまま維持すればいいというものでも、無いんだと思うんですよね。だから、直轄事業をやるときには、計画段階から住民の意見が、情報公開なんかをして、住民の意見が反映するような道民の参加が保障されて、清潔でガラス張りの直轄事業にしなければならないというような趣旨が一つ加わったらいいなと、国の機関を維持する事になっているのですが、国の機関も色々問題があると思うんですよね。だから、ただ国の機関を維持すれというだけでは、ちょっと不十分だと思うので、国の機関は無駄を廃し効率的な行政機構を旨とする事とか、そういう形で変えていただければ、尚、よい意見書になるのではないかと思います。それから、5番目に雇用の安定創出に関する機関を充実させることと有るのですが、今のハローワークを縮小したり閉鎖したりするような事もされているんですよね。だけど、どんどん失業者が増えていく中で、創出に関する機関を充実させる事は異議が無いのですが、ハローワークの閉鎖・縮小を止め、人員の拡充を始め、雇用の安定、創出に関する機関等を充実させる事とか、そういう風にして貰えれば、意見書としてはさらに良くなるのではないかなと思います。

○委員長（牧野茂敏） 他に意見ございませんか。

今、増田委員の方から、国の直轄事業、あるいは国の機関を維持するという2点について、もう少し、内容を変えたらよいのではないかと提案されたのですが、どうでしょうか。

助川委員。

○委員（助川順一） 直轄事業の関係については、今、知事会でも問題点、色々指摘されていますし、そういう事で、今、増田委員のおっしゃる方向で、少し文面は考えたほうが良いと、私は思っています。

委員長（牧野茂敏） その他、ございませんか。意見が無いようなので、これで質疑を終了いたします。次に、討論を行いたいと思いますが討論はありますか。

（なし）

○委員長（牧野茂敏） 無いということで、ございますので採決をいたしたいと思います。

本陳情について、採択することにご異議ありませんか。

（なし）

○委員長（牧野茂敏） 異議が無いものと認めます。したがって陳情第14号は採択することに決定しました。

続きまして、陳情第15号、地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める陳情書を議題といたします。本陳情について、皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。

増田委員。

○委員（増田武夫） 地方財政の充実・強化を求めるについては、異論がなく、そのとおりなんです、この中で、なんで地方財政がこんなに苦しくなってきたのか、ということには原因がある訳で、やはりそのことを直さないと、地方財政の充実は図れないと思うんですよね。そういうことから言えば、三位一体の改革というのがでて、それで地方交付税を減らす、それから国庫補助とか負担金とかも、三位一体の改革から極端に苦しくなってきたんですよね。だから、そういう改革を改めて復元、充実を求めることが、こんな世の中の形で反映されれば、更によくなるのではないかなと思うんですよね。そうした点で言えば、表現の問題だから、どういう表現をしていくのかはそれぞれあるのですが、この陳情書で反対しなければならないところは、無いと思うのですが、そういった問題がどこかに入れば政府に対する訴えに、更によいのではないかなと言う事が一つと、意見書案を見ますと、2番のところに地方消費税の充実というのが入っているのです。これも、いろんな考え方があると思うのですが、今、消費税の増税問題が話題になって、総選挙でもそうってくるのですが、地方消費税の充実ということになると、消費税を増税するということにもつながってくる事だと、思うんですよね。だから、できればそういう三位一体の改革も入りつつ、消費税の充実というのを削除してもらえれば、全面的に賛成できることになると思います。消費税の問題については、上げたほうが良いという人も、もちろんおられるかもしれませんが、消費税を引き上げていくということは、いろんな問題があると思うので、できれば文面から消費税の充実というのを、意見書の文面から削除してもらうことがいいのではないかと、消費税の引き上げ反対なんてのを入れろというのでは無く、削除してもらえれば、どういう立場の人でも、全面的に賛成していける意見書になるのではないかなと思うので、その辺を考慮していただきたいな、というのが意見です。

○委員長（牧野茂敏） 他に意見ありませんか。

今、増田委員から地方消費税について削除という意見がありましたが。

助川委員

○委員（助川順一） これ、私、願意はね、今の5%の消費税のうち、地方にまわる部分を増やして欲しいという意味で、自分は取ったのですけれど。その辺、消費税を増やして地方を増やしてくれとは、私は取らなかったのですけれど。

○委員長（牧野茂敏） 地方税の充実ということであれば、増田委員も問題ないと。

他にご意見ございませんか。

（なし）

無いようですので、これで意見を終了させていただきます。

次に討論を行います、反対の討論はありませんか。

（なし）

無いということでありますので、続けて採決を致したいと思います。本陳情について、採択することに、ご異議ございませんか。

(なし)

異議が無いものと認めます。したがって、陳情第15号は採択とすることに決定いたしました。

お昼の時間が近づいていますが、延長してかまいませんか。

(異議なし)

延長さしていただきましたので、続けたいと思います。

次に、陳情第16号、2010年度国家予算編成における義務教育無償、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率二分の一復元、就学援助制度充実など教育予算の確保・拡充を求める意見書の提出を求める陳情書について、皆さんのご意見を伺いしたいと思います。

ご意見ありませんか。

(なし)

ご意見が無いようですので、質疑、意見を終了させていただきます。次に討論を行いたいと思いますが、反対の討論はありませんか。

(なし)

無いということですので、採決をいたします。本陳情について、採択することに、ご異議ございませんか。

(なし)

異議が無いものと認めます。したがって、陳情第16号は採択とすることに決定いたしました。

次に、陳情第17号、核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書の提出を求める陳情書を議題といたします。本陳情について皆さんのご意見はございませんか。

増田委員。

○ 委員（増田武夫） 核兵器の問題について、二つ出てきていますよね。これ、幕別の議会の取り扱いをよく承知していないのですが、これ、両方が採択された場合、両方の趣旨にそった意見書を同じような課題であっても、両方の意見書を議決していく、こういうことになって良いのか、どうか。

○事務局（堂前芳昭） 陳情17号と20号については、内容的には非常に近い内容ということで、委員会の中で陳情趣旨が二つとも同じような趣旨とみれば、一つにして意見書を提出するという手法も採っています。

○委員（増田武夫） この陳情の場合も、もっと政府に積極的に世界に働きかけてくれというような点が入れば、なお良いと思うのですが。基本的には、この趣旨には賛同できると思います。

○委員長（牧野茂敏） ただ今、増田委員の方から内容は同じようなものであるというお話があったわけですが、この委員会としては2本別々に出した方がよろしいですか。

あ、勘違いしました。採択が先ですね。その他、ご意見ございませんか。

(なし)

意見が無いようですので、陳情第17号を採択することについて、ご異議ございませんか。

(なし)

異議が無いものと認めます。したがって、陳情第17号は採択とすることに決定いたしました。

次に、陳情第20号、非核日本宣言と核兵器廃絶を求める意見書の提出を求める陳情書について、ご意見ございませんか。

(なし)

意見が無いようですので、本陳情について採決をいたしたいと思います。本陳情について、採択とすることにご異議ございませんか。

(なし)

異議がないということで、陳情第20号は採択することに決定いたしました。

意見書についてなんですが、陳情第17号と20号はどのように扱ったら、よろしいでしょうか。

○ 委員（乾邦廣） まとめた方が、よろしいんじゃないですか。

○ 委員長（牧野茂敏） できれば一本ということなんですが、うまくまとまりますか。

○ 委員（増田武夫） やはり最近非核三原則といっても、今まで密約していて持ち込むのはいいんだという、そういうこともあった、政府は認めていないんだけど。アメリカの文書が出てきたり何だりで、そう言う事になってみたいんだよね。だから、正式に非核日本宣言でもして非核三原則を堅持するんだというようなことを、やるべきだと思うのでまとめる際には、是非その辺もお願いしたいと思います。

○ 委員長（牧野茂敏） 次に陳情第21号、学費が払えず高校を卒業・入学できない若者をなくす緊急対策に関する意見書の提出を求める陳情書を議題といたします。本陳情について、皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。

増田委員。

○ 委員（増田武夫） 今、高校でも学費を払えないで、払えないがために、卒業証書も出ないというようなことも、全国各地で起こってきているですよ。調べてみると、私立高校なんかで、江陵高校でも福祉課なんかは年間授業料が39万円だということですよ。道の授業料なんかも、結構上がってきていて、経済的に苦しい家庭が高校に行くのも大変だという状況も生まれてきているんですよ。道の授業料を調べてみると、月額9900円で、年額11万8800円、昔からすると相当上がってきているようなんです。そういうことを、考えると、学費滞納、もちろん、それは特殊なこととして、それこそ払えるのに払わないというのも、中に入るのかもしれないけれど、基本的には子どもの責任ではないんですよ。学費が払われていないというのは。だから、そのことを理由に、その子どもが高校を卒業する資格が貰えないということになると、相当その子どもにとって将来的なハンデというのは大きいものだと思うんですよ。そういう事を理由にした退学だとか除籍だとかいうのは、すべきではないと思うし教育の機会均等という点から言っても、非常に問題だと思うんですよ。だから、そういうことから言えば、やはりそういう心配がなく子どもたちが学校に通えるような様々な手を、国自身が打つ必要があるんでないかということで、陳情の趣旨は理解できると思います。

○ 委員長（牧野茂敏） 他にございませんか。

(なし)

それでは意見が無いようですので、採決を致したいと思います。本陳情について採択とすることにご異議ございませんか。

(なし)

異議が無いということですので、したがって陳情第21号は採択とすることに決定致しました。

以上で、陳情6案件については、終了させていただきます。

なお、委員会報告書および意見書案の作成について、正副委員長に一任をお願いしたいと思いますよろしいでしょうか。

(異議なし)

異議が無いようですので、その様にさせていただきます。

次に、常任委員会道内視察研修についてを議題といたします。

事務局より、説明をお願いします。

○ 事務局（仲上雄治） お手元に配付のとおり、議会道内視察研修計画をまとめました。前回の委員会の時に、北広島図書館に行くという計画案になっていましたが、たまたまその時に他の町村の視察が先に入っておりまして、同じような中身でメール配信サービスということで、更に幅広くやっている石狩市を視察するというに変更しました。それと3日め、札幌市民防災センターに行くという案になっていましたが、これにつきまして他の団体の視察が入っておりまして変更しまして、札幌ビール工場の施設見学ということに変わっております。あと、本文中にも書いてある通り、都合の悪い方は、6月16日までに事務局まで連絡いただきたいと思います。特に連絡の無い場合は、参加できるものとして事務局で取り扱いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○ 委員長（牧野茂敏） ただ今、説明がありましたけれども、何かございませんか。

○ 委員（増田武夫） 7月2日は、全体で行動ですね。

○ 事務局（仲上雄治） そうです。6月30日と7月2日は3委員会、一緒です。

○ 委員長（牧野茂敏） こういった日程でよろしいですか。

(はい)

それでは、このようにさせていただきます。

○ 委員長（牧野茂敏） 3番目、その他、所管事務調査についてであります。

事務局から、説明をお願いします。

○ 事務局（仲上雄治） 閉会中の所管事務調査項目についてです。前回の議会で、委員会条例変更いたしました。それで、各部を網羅した形となっております。ただ、実際に行う場合に、今まで同様に項目立てしてもらわないと、何を行ってよいか分からないので、参考のためということで、主要所管事務調査項目の別紙をつくりました。これに、こだわらなくても結構なのですが、何か具体的な所管事務調査項目を決めていただきたいと思います。

○ 委員長（牧野茂敏） 調査項目ですが、何か提案をいただければ。

○ 委員（増田武夫） 概ねこのような項目を2年間かけて、という考え方でよろしいでしょうかね。1回平均、何項目ぐらいとか、ありますよね。

○ 委員長（牧野茂敏） 関連するものもありますし。何かありますか。

○ 委員（増田武夫） 図書館と学校教育関係、社会教育、体育関係ということで、どうですか。

○ 委員長（牧野茂敏） それでは、教育に関することで所管事務調査を行いたいと思います。時期は、いつ頃がよいですか。

○ 委員（乾邦廣） 正副委員長にお任せします。

○ 委員長（牧野茂敏） それでは、正副委員長に概ねお任せいただきたいと思います。
その他、何かございませんか。

（なし）

以上を持ちまして、本日の総務文教常任委員会を終了させていただきます。

（12：15 閉会）